

賛助会員 北海道栽培漁業振興公社 060 札幌市中央区北3条西7丁目  
北海道第二水産ビル4階  
阿寒観光汽船株式会社 085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔  
株式会社 シロク商会 260 千葉市春日1-12-9-103  
全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5  
有限会社 浜野顕微鏡 113 東京都文京区本郷5-25-18  
株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市谷保1769  
田崎真珠株式会社田崎海洋生物研究所 779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井  
神協産業株式会社 742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1  
理研食品株式会社 985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号  
株式会社白寿保健科学研究所 原 昭邦 351 朝霞市栄町3-3-7

# 情報処理印刷

ワープロ・データベース フロッピー・磁気テープが印刷へ直結

## 中西印刷株式会社

取締役社長 中西隆太郎

京都本社 602 京都市上京区下立売通小川東入ル  
tel.075-441-3155 fax.075-441-3159  
東京連絡所 tel.東京03-3815-7465

藻類のライフヒストリーをオリジナルの線図に解説をつけ見開きで示す!

# 藻類の生活史集成 全3巻 堀 輝三編 (送料各巻450円)

第1巻 緑色藻類 (185種)	B5判・450頁・定価8240円
第2巻 褐藻・紅藻類 (171種)	B5判・424頁・定価8240円
第3巻 単細胞・鞭毛藻類 (146種)	B5判・372頁・定価7210円

94年2月  
全巻揃う

藻類の研究者115名が自らの研究成果と資料をもとに執筆に当たり、現時点で明らかになっている藻(502種)の生活史・生活環を線図で集大成した初めての本。

本書の構成は、図を左頁に直面する頁に和英の解説文をつけて、2ページを1単位として組み立ててある。執筆者によるオリジナルの線図は、藻類のライフサイクルを一見して理解させそれに簡明な解説を付す。さらに教育的配慮から多くの種について分布図を、そして各巻ごとに同義語を、各巻の巻末に学名総索引・和名索引を収録して読者が使いやすいよう工夫した。藻類を専門とする研究者や中学・高校の生物の先生、水に関連する研究所や企業の方々を初め、藻類に興味をもつ人々にとって、長い間出版が望まれていた本である。

刊行は9月に第2巻を:11月に第3巻を:94年2月に第1巻を刊行し完結。[呈内容案内]

第2期がスタート——第11巻刊行のお知らせ——

## 写真で見る種の同定と分類!

### 淡水藻類写真集 第11巻

第1期10巻に続き今秋から年2~3冊を刊行して10巻(1000種)を目標とする。これにより2000種となり利用価値も高まる。(12巻3月末刊行)

山岸高旺・秋山 優編

B5判・100シート 定価7210円

製本様式を下記のようにいたしました。  
2穴・並製箱入り 千各380円

既刊 第1期10冊1・2巻 定価4120円/3~10巻 定価5150円(千各380円)

## 藻類の生態

秋山 優・有賀祐勝 共編  
坂本 充・横浜康継

A5判(上製函入) 640頁  
定価13,184円(千450円)

## 日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺編 日本ではじめて創られた本格的な図鑑。淡水藻類の研究者や水に関係する方々にとっては貴重な文献である。

定価39140円

## 植物組織学

猪野俊平著 植物組織学の定義・内容・発達史から研究方法を幅広く詳述した唯一の書。

定価18540円

## 藻類学総説

廣瀬弘幸著 藻類の分類と形態を重点に置いて、  
克明な図により丁寧に解説する。 定価10300円

## ナマコとウニ

——民謡と酒のさかなの話——

大島廣著

定価1009円

## 水の環境科学

鈴木静夫著 公害防止から環境保全へと時代が変わり本書は水の環境の現実を解説する。

定価2472円

## 生物学史展望

井上清恒著 五千年にわたる生物学の流れを時代の経緯と共に語る。

定価5974円

内田老鶴圃

〒112 東京都文京区大塚 3-34-3  
電話(03)3945-6781 FAX(03)3945-6782

(価格は税込)

海洋環境・藻場造成関係者必携の書!!

# 図鑑 海藻の生態と藻礁

編者 = 徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。

生態編では、緑藻42種、褐藻72種、紅藻80種、海草6種の総計200種をオールカラーで紹介。藻礁編では、藻礁、すなわち藻場造成用人工礁の構造や沈設位置を図示し、海中での藻礁上の海藻の生育状態、あるいは動物の蝸集状態を経時的に撮影した82点に及ぶカラー写真で示した。

藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

■B5判 上製 総ページ 198p  
カラーページ 179p  
定価 14800円(税込/送サービス)



英語版も完成!

— A Photographic Guide —

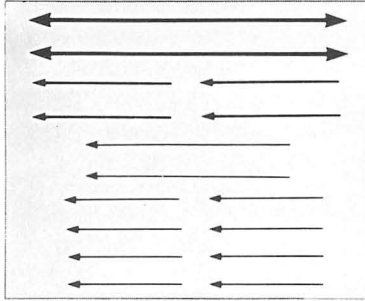
Seaweeds  
of Japan

定価15,000円(税込/送サービス)

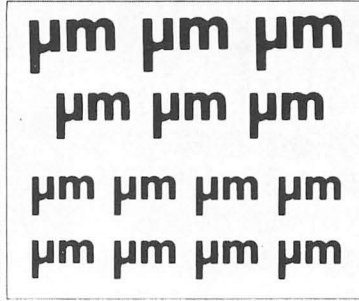
||||| 新製品ご案内!! |||||

# レタリングシート (ブラック アンド ホワイト)

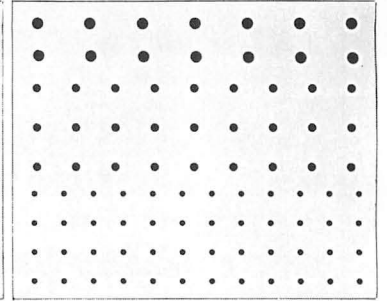
EMI NO.82014



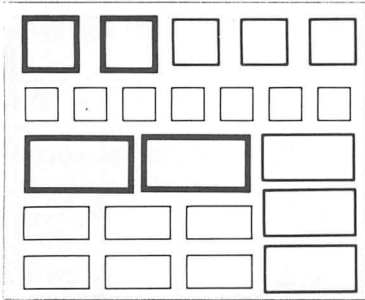
EMI NO.82016



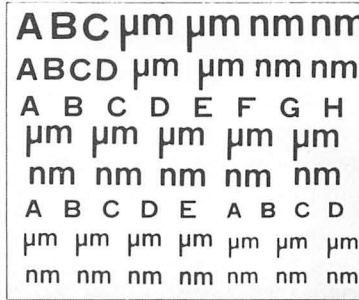
EMI NO.86626



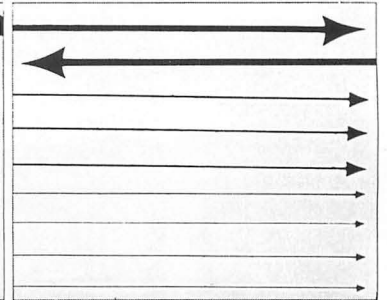
EMI NO.86627



EMI NO.86902

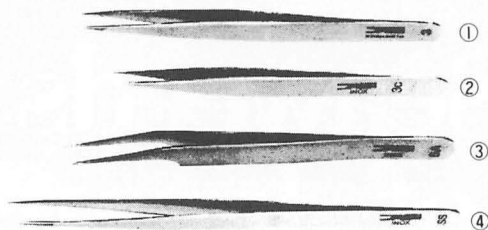


EMI NO.86916



※レタリングシートの総合カタログが出来ました。下記の住所へカタログをご請求下さい。

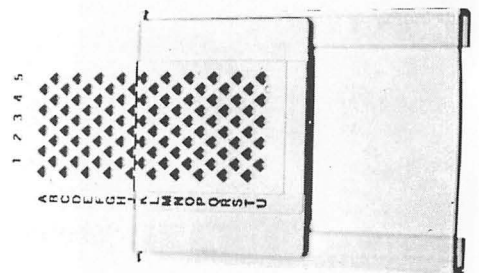
## 西独製 精密ピンセット



- ①時計ピンセット
- ②3Cピンセット
- ③5型変形ピンセット
- ④SS型ピンセット

各1本：¥2,200

## EMグリッドボックス



1個：¥1,800 10個：¥15,000



EM資材直販センター

〒274 千葉県船橋市三山5-6-1 TEL.0474(75)5783  
東京営業所：TEL.03(988)9906

## 学会出版物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750円、非会員各号 3,000円、30巻4号(創立30周年記念増大号、1—3巻索引付)のみ会員 5,000円、非会員 7,000円、欠号：1—2号、4巻1、3号、5巻1—2号、6—9巻全号。

2. 「藻類」索引 1—10巻、価格、会員 1,500円、非会員 2,000円、11—20巻、会員 2,000円、非会員 3,000円、創立30周年記念「藻類」索引、1—30巻、会員 3,000円、非会員 4,000円。

3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補。1977. A 5版, xxviii + 418頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26, 和文24)を掲載、価格 7,000円。

4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編。1972. B 5版, xiv + 280頁, 6図版。昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載。価格 4,000円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究。1977. B 5版, 65頁。昭和49年9月に札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格 1,000円。

## Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the **Japanese Society of Phycology, Shimotachiuri Ogawa Higashi, Kamikyoku, Kyoto, 602 Japan.**

1. **Back numbers of the Japanese Journal of Phycology** (Vols. 1–28, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 2,000 Yen per issue for member, or 3,500 Yen per issue for nonmember; price of Vol. 30, No. 4 (30th Anniversary Issue), with cumulative index (Vols. 1–30), 6,000 Yen for member, or 7,500 Yen for nonmember (incl. postage, surface mail). Lack: Vol. 1, Nos. 1–2; Vol. 4, Nos. 1, 3; Vol. 5, Nos. 1–2; Vol. 6–Vol. 9, Nos. 1–3.

2. **Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology.** Vol. 1 (1953)–Vol. 10 (1962), Price 2,000 Yen for member, or 2,500 Yen for nonmember; Vol. 11 (1963)–Vol. 20 (1972), Price 3,000 Yen for member, or 4,000 Yen for nonmember. Vol. 1 (1953)–Vol. 30 (1982), Price 4,000 Yen for member, or 5,000 Yen for nonmember (incl. postage, surface mail).

3. **A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio Yamada** (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977. xxviii + 418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. 8,500 Yen (incl. postage, surface mail).

4. **Contribution to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific.** Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI, 1972. xiv + 280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific Benthic Marine Algae, held in Sapporo, Japan, August 13–16, 1971. 5,000 Yen (incl. postage, surface mail).

5. **Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido** (in Japanese). 1977. 65 pages. Four papers followed by discussion are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1977. 1,200 Yen (incl. postage, surface mail).

1994年3月5日印刷

1994年3月10日発行

©1994 Japanese Society of Phycology

禁 転 載  
不 許 複 製

編集兼発行者

石川依久子

〒184 小金井市貫井北町 4-1-1  
東京学芸大学生物学教室内  
Tel. 0423-25-2111 内線 2665

印刷所

中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入  
Tel. 075-441-3155

発行所

日本藻類学会

〒602 京都市上京区下立売通小川東入  
Tel. 075-441-3155  
振替口座：京都 1-50488

Printed by Nakanishi Printing Co., Ltd.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」による。

Publication of The Japanese Journal of Phycology has been supported in part by a Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Result from the Ministry of Education, Science and Culture, Japan.

# 藻類

## 目次

John M. Huisman: 西オーストラリア産シノブゴケ属の一新種 <i>Ditria expleta</i> (紅藻, フジマツモ科)..... (英文)	1
吉田忠生・三上日出夫: ヒメカラゴロモ (新称) <i>Vanvoorstia spectabilis</i> とカラゴロモ <i>V. coccinea</i> (紅藻コノハノリ科) の形態について..... (英文)	11
堀口健雄・Richard N. Pienaar: 南アフリカのタイドプールから採集された渦鞭毛藻の一新種 <i>Gymnodinium natalense</i> (渦鞭毛藻綱) について..... (英文)	21
先崎 智・堀口健雄: 長野県産淡水渦鞭毛藻類の分類学的研究..... (英文)	29
吉田忠生: 日本産ホンダワラ属 (褐藻ヒバマタ目) の3新種について..... (英文)	43
Danilo B. Largo・大野正夫・Alan T. Critchley: フィリピン, セブ島 Liloan 沿岸の <i>Sargassum polycystum</i> と <i>S. siliquosum</i> の成長と生殖の季節的变化..... (英文)	53
Murray T. Brown・Miles D. Lamare: ニュージーランド, チェマル港におけるワカメの分布..... (英文)	63
片山舒康・平田 徹・倉島 彰・太齋彰浩・横浜康継: 藻類の光合成色素の簡単な定性分析法.....	71
◆◆◆	
ノート	
川嶋昭二: 外国産コンブ目植物の漂着記録 (7) チシマネコアシコンブについて.....	79
◆◆◆	
総 説	
三浦昭雄・高木 優: 紅藻ササビノリ ( <i>Porphyra yezoensis</i> Ueda) における色素変異型のメンデル遺伝.....	83
◆◆◆	
雑 録	
秋期シンポジウム講演要旨.....	103
訃 報.....	109
新刊紹介.....	111
学会録事.....	115
日本藻類学会第18回大会 (プログラム・講演要旨).....	119
日本学術会議だより.....	145